

# たるみ歯科通信

2021年3月 第123号

こんにちは。歯科衛生士の廣田です。

3月になりあたたかい日が増えてきましたね。コロナがなかなか終息してくれず、我慢の日々が続きますが、おうち時間をenjoyして乗り切りましょう！！

さて、今月は1月号から引き続き「保険診療と自費診療」の第3弾です。前回は自費診療のかぶせ物についてお伝えしましたが、今回は「**自費診療の義歯(入れ歯)の特徴**」をご紹介します。

## ハンクラスプデンチャー (バネのない義歯)



- ① 弾力性のある特殊な樹脂を用いている。
- ② 金属のバネを使用しないため見た目が自然。
- ③ 修理ができないことがある。

## マグフィット



金属の土台を歯根に装着し、義歯の内面に磁石を組み込むことにより、義歯がピッタリとくっついてしっかり安定する。

## 金属床義歯



- ① 体に優しい丈夫な金属を用いている。
- ② 金属が薄くて軽いため、異物感が少ない。
- ③ 温かさ、冷たさを感じやすいため食事をおいしく楽しめる。
- ④ 修理ができないことがある。

## 保険適用の義歯



- ① 健康保険適用で比較的安価に簡便につくることができる。
- ② 金属床に比べると強度、装着感は劣る。
- ③ 金属床に比べるとプラスチックの厚みによって異物感がある。
- ④ 修理がしやすい。

それぞれの義歯にはメリット・デメリットがあり、お口の状態によってはうまく合わない義歯もありますので、詳しくは担当医・担当衛生士までご相談下さい。

## 3月の予定

院内研修のため、**3月19日(金)の午前**は**休診**といたします。